



福祉科実習棟



食物健康科棟



食物健康科棟に続く渡り道路



第 46 号

《発行》
 函館大妻高等学校
 同窓会
 「いとぐるま」編集部
 〒040-0002
 函館市柳町14番23号
 電話 (0138) 52-1890
 FAX (0138) 52-1892
 印刷 (有)三和印刷



同窓会会長

平田 優子

S 55年卒業(旧姓若山)

今年には三年ぶりに何の行動制限もない春となりました。大勢の花見客を引き連れて咲いた桜の花はあつという間に日本列島を駆け抜けていつてしまいましたが、同窓生の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年二月に始まったロシアのウクライナへの軍事侵攻は未だに終わりの気配を見せず、何より尊重されるべき人命が軽んじられている現状に大変心が痛みます。また、この三年、猛威を振るい続けた新型コロナウイルス感染症は、死亡率の低下と共に季節性インフルエンザと同等の扱いに移行される見込みとなりました。しかしながら、完全に新型コロナウイルスを封じ込めた訳ではない以上、これからも起こりうる感染拡大に備え、手洗いや人混みでのマスクの着用、

アルコール消毒等、今までと同じように気を弛めずに日々を送らなければと思っております。さて皆さま、いよいよ母校創立百周年の御慶事の年がやってきました。令和五年十月五日、母校体育館にて記念式典が挙行され、その後、国際ホテルに場所を移して祝賀会が開催される模様です。かねてより、同窓会名誉会長の池田校長先生から、「母校の歴史を共に創り上げてきた同窓生の皆さまには一人でも多くの方

に出席して貰いたい」とのお言葉を頂いております。ご出席の申し込みその他につきましては詳細が決まり次第ご案内を差し上げる予定でございます。

では、現時点での記念式典の内容についてお知らせしたいと思います。記念式典は二部構成で、一部は吹奏楽部の演奏で始まり、大妻名物のフアッシュンショー、日本最古のピアノによる演奏を聴きながら母校百年の歴史を辿るスライドショーを観覧し、厳かな雰囲気の中で二部の記念式典へと続いていきます。その後国際ホテルへ移動し、和やかな祝賀会の中で、皆さまの母校愛溢れる御厚志「母校創立百周年記念寄付金」の目録の贈呈も予定されておりますので、是非多くの同窓生の皆さまが見届けてくださいますようにと祈念しながら、祝賀会へのご出席を心より切にお願い申し上げます。

コロナ禍も少しずつ落ち着いてきた所で、来る六月二十七日(火)には五年ぶりに「常任幹事・幹事会」を開催する予定であります。母校の御慶事に先立ちまして、寄付金や収支決算報告、同窓会活動について忌憚のない意見交換の場にしたいと思っておりますので関係の皆さまにはお忙しいとは存じますが、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年度も本部同窓会並びに各支部会は中止の判断がなされておりますので、母校の御慶事で本部・支部の皆さまにお会いできるのを今か今かと待ちわびている次第です。皆さま、健康に留意され体調を整えて十月五日に満開の笑顔の花を咲かせてください。母校の壮大な歴史の一ページに立ち会える喜びに包まれながら一緒に盛り上げていきましょう。

御慶事について少しでも詳しいことを掲載したいと思い、今号の「いとぐるま」の発送は例年より一月ほど遅くなりましたことをお詫び申し上げます。ご了承頂けましたら幸いに存じます。



今年は大妻一〇〇周年です!!

学校 校長 同窓会名誉会長 池田延己

一向に衰えを見せない新型コロナウイルスですが、同窓生の皆さまは用心に用心を重ね、負けずに元気に過ごしていることと思います。

さて、今年は一函館大妻高校創立百周年の年にあたります。令和五年十月五日、本校体育館で記念式典を挙行し、国際ホテルで祝賀会を開催します。コロナの関係でここ数年、各支部の同窓会も開催されていません。函館の地で、百周年の会場で支部同窓会を開催しませんか。たくさん同窓生の皆さまの参加をお待ちしています。

最近、校長室にいと何故か良く昔のことを思い出します。少しだけ外山ハツ校長先生の話を聞かせていただくと触れたいと思います。私が大妻に就職した昭和四十五年、外山ハツ校長先生も神田マス子先生も元氣ハツラツでした。神田先生には良く叱られました。その両先生も亡くなり、同じ職員室で同じ空気を吸って直接薫陶を受けて育てられてきた先生方も、いつの間にか私一人になってしまいました。

校長先生は全校集会で多難だったご自分の人生を振り返り、「人生いかに生きるべきか」の問いを常に投げかけておられました。座右の銘は、「憂きことのお上に積もれば、限りある身の力ためさん」でした。

「辛いことや悩み事よ、やって来い。自分の力には限りがあるけれど精一杯がんばるぞ」というほどの意味でしょうか。そして、「これから的人生、大妻魂『不撓不屈の精神』で乗り切ってください。この大妻学園の中で植えつけられた大妻魂だけは、あなたの方の豊かな心の畑で立派に育てあげ、たやすことなく次の世代につたえ継いでいってください」とも話されていました。強い精神力と行動力、類まれな指導力をもった今日の大妻の礎を作りあげてきました。本校の力強い伝統と建学の精神は、時代がどのように変化しようとも少しもゆらぐことなく、次の時代へ継承されると確信しています。私も先生方や生徒に話しています。また、校訓「恥を知れ」については、「この言葉は他人に対して言うことではありません。自分の行動や自分が話した言葉が相手を傷つけないか、して良いことと悪いことの判断をしつかりできたか。自分の良心に恥ずるような行動をするな、という、人間が生きていく中で最も大切な根本的なものすべての中に含まれているのです」と、かみ砕くように話されていました。昭和四十八年に挙行された創立五十周年の式辞で、「もう私は八十歳になります。もう十年、九十歳になるまで現職で

頑張るつもりです」のことば通り、昭和五十八年四月二十三日、九十歳で逝去されました。

校長先生が目指した大妻の使命は、「資格を取得させ、広く社会に貢献できる女性の育成」です。大妻では、学科によつて異なりますが国家資格をはじめ多くの資格に挑戦し取得できます。一つの資格取得は生きる力になり、更に二つ目の資格の扉を開けます。これでもできるように、あれも作れるようになったという、たくさんの小さな成功体験の積み重ねは、自信となつて社会で活躍できる源になります。女性の「自立」に向けた建学の精神「良妻賢母」のモットーは「おもいやり・やさしさ・心くばり」です。校訓「恥を知れ」という「自律」の精神とともに、これから先百年、二百年たつても、人が人として生きていくうえで変わるものではありません。外山ハツ校長先生、外山正校長先生、外山茂樹校長先生の三代に仕え、半世紀にわたつて薫陶を受けることができた私は幸せ者です。変化の時代を迎えておりますが、残された人生、「私学人」「大妻人」として、これからも受け継がれてきた伝統を継承し育て上げていく所存です。これから、同窓生の皆さまのお力添えをお願い致します。百周年記念式典・祝賀会でお会いしましょう。皆さまとお会いできるのを楽しみにしております。

会報「いとぐるま」の郵送には、皆様からの年会費が必要です

これまで同窓生の皆様には、多大なご協力をいただいてまいりましたが、残念な事に、年々、「年会費」の振込が減少してきております。「いとぐるま」がお手元に届きましたら、忘れずに年会費のお振込をお願い申し上げます。平成26年度より、以下の方のみに「いとぐるま」を郵送しております。

- 年会費、寄付金を送金して下さった方
- 総会・親睦会に出席して下さった方
- 同窓会にご協力下さった方
- 新入会員で母校卒業後10年以内の方

「函館大妻高等学校」のホームページの一番下の「いとぐるま」(バナー)をクリックすると本年度だけではなく、歴代のいとぐるまも閲覧できますので、是非ご覧ください。

母校創立百周年にむけて、今後ともご支援ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

<http://www.hakodate-otsuma.ed.jp>

福祉科

今年度は、校外実習を行うことができました。これにより生徒一人ひとりが校内実習では学ぶことのできない貴重な体験、特に実践を通して、専門職の役割やチームケアなどをしっかりと学ばせていただきました。介護実習体験報告会では、新型コロナウイルス感染症の影響も鑑み、学年ごとに発表を録画する形式をとりました。文字だけでなく映像としても見せることで生徒の意識に残し、さらなる成長につながっていかばと思います。また、今年度より変更になった国家試験の内容に合わせた冬季模試や課題に対し、3年生は冬休み中も奮闘し続けていました。



冬季模試の様子

家政科

令和四年十一月十二日（土）、函館市芸術ホールで第十回家政科学習報告会を行いました。一年生の家庭科技術検定についての発表は、自身の体験をもとに台本を考え、動画などを駆使してわかりやすいものとなりました。二・三年生の子ども文化コースの劇は、台本や配役・小道具作りなど一から行い、練習を重ねました。二・三年生のファッション造形コースは、三か月かけてデザインから造ったドレスを披露しました。当日はステージに立つ友人のために裏方も頑張り、家政科全員が一つのチームになって無事終了しました。一つひとつの経験は、次に生かされることでしょう。



各学年・コースとも、この日のために一から重ねた準備が実りました

トピックス

普通科



基礎力診断テスト後の学科集会

定期考査では測定しづらい生徒の基礎学力を把握し、さらに分析することで基礎学力を定着させ、進路決定への一歩とするべく春季と秋季の2回「基礎力診断テスト」を行っています。その新たな取り組みとして今年度から基礎力診断テスト後に学科集会を開催し、成績上位の生徒や前回と比べ大幅に点数がアップした生徒、家庭学習や課題に一生懸命取り組んだ生徒を表彰しています。これにより、生徒が学習に対するモチベーションや向上心を高め、自ら積極的に学習を行う自主性を身に付け、将来に役立てることを願います。また、「自分の将来とお金」をテーマに野村證券により開かれた特別授業は、卒業後のライフスタイルを考える機会となりました。



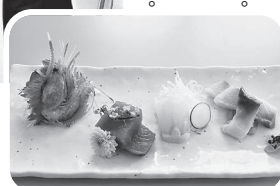
野村證券による特別授業の様子

食物健康科

令和五年二月四日（土）、三年生が保護者の皆様へ感謝の気持ちを込めて、日本料理を振る舞いました。学科の先生方からは「試作に失敗はつきもの。それを受け止め、まず自分ができなかったことを見つめ直す——それが大切だ」と指導されてきました。生徒たちは自分がやりたいことを優先するがあまり、自分よりも他人に目が行って前へ進めない時期もありましたが、「感動を与える料理は、お客様のことを一番に考えるのが大切」という原点に各人が気づき、クラス一丸で取り組むことができました。本番では保護者の皆様にその心が伝わり、生徒たちにとって達成感に満ち溢れた一日となりました。



感謝の気持ちを料理に込めて





●編集後記
ある同窓生の方から去年の「いとるま」でもらったエコバッグを持って歩いていたら、ご近所の人が色違いのエコバッグを持って、「おいらあなたも大妻?」「あなたも?」となり、「初めて同窓生だと気づいたのよ!」、それも二人もいたのよ!!」と教えてくださった、さらに「柄もステキね」とうれしいエピソードと共にお誉めの言葉をいただきました。とてもうれしくて、ここに報告させていただきます。(大田 記)